

## ILC（国際リニアコライダー）に関する最近の状況について

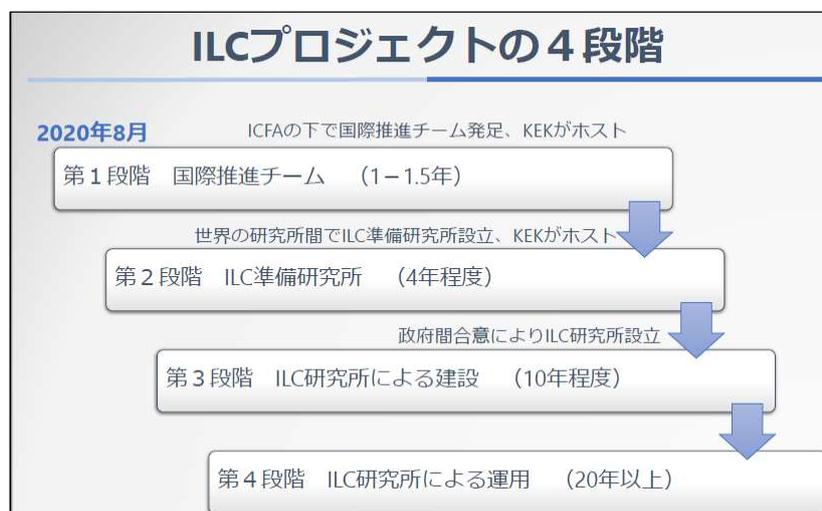
### 1 ILCに関する国内外の動き

2019年	
3月	国際将来加速器委員会（ICFA）の会議において、日本政府が初めてILC計画への関心を表明した。
10月～11月	リニアコライダー国際会議（LCWS2019）が仙台で開催された。
2020年	
2月	ICFAの会議において、 ・文部科学省が、米欧との意見交換の実施や現状認識等について発表し、改めてILCへの関心を表明した。 ・ICFAが、建設準備期間移行に向けた、高エネルギー加速器研究機構（KEK）を中心とした国際推進チームの設立を提言した。
6月	欧州素粒子物理戦略において、日本においてILCがタイムリーに進めば、欧州はILCに協力すること等が明記された。
8月	2月のICFAの提言に基づき、研究者コミュニティによりKEKを拠点としてILC国際推進チームが設立され、ILC準備研究所設立に向けた活動を開始した。 関係自治体や大学等により東北ILC事業推進センターが発足し、ILC国際推進チームの活動に呼応し、建設準備のための実務的な調査検討を開始した。
10月	国際会議AWLC（Americas Workshop on Linear Colliders）2020で、米国政府（エネルギー省、国務省）がILCに対する強い関心や支持、国際協議継続の姿勢を表明した。

### 2 ILC国際推進チームについて

ILC準備研究所設立に向けた準備を進めるため、2021年末までの完了を想定し、次の取組を行う。

- ・ ILC準備研究所の役割と組織の明確化
- ・ 加速器、物理・測定器の研究開発、工学設計等
- ・ ILC準備研究所に必要なリソースに関して各国の大学、研究所等と折衝
- ・ ILC準備研究所設置に関して、各国当局の議論を支援するために必要な情報を提供

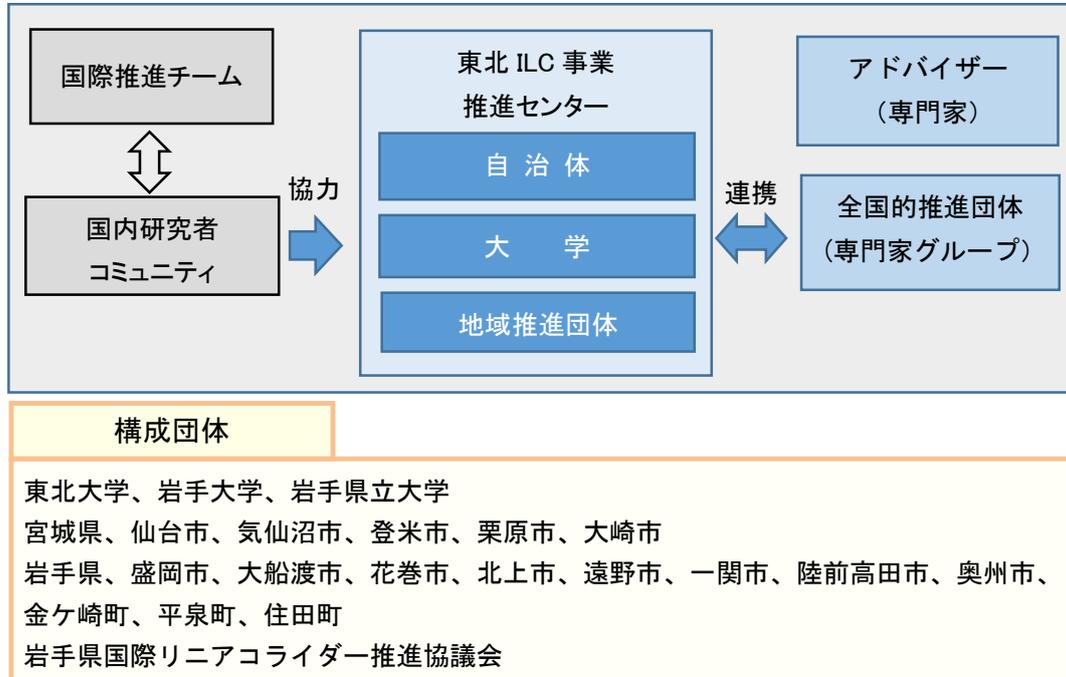


（令和2年6月26日 KEKメディアサロン資料より）

### 3 東北 I L C 事業推進センターについて

I L C 国際推進チーム設立等の国際的な動向を踏まえ、I L C 国際推進チームに協力し、I L C の受入環境整備等の実務的検討を行うため、令和 2 年 8 月 6 日に東北 I L C 事業推進センターを設立。

#### (1) 組織



#### (2) 検討項目

- ・道路・上下水道等インフラ整備の検討
- ・地域づくりのプランの検討（居住、研究施設、産業振興）
- ・地域住民への説明
- ・環境アセスメントの準備
- ・教育・医療等外国人研究者・家族等の受入環境整備
- ・研究施設等への地域資源活用
- ・加速器関連産業の振興 等

### 4 岩手県の取組

#### (1) I L C の早期実現に向けた関係団体と連携した取組

- ・超党派国会議員連や研究機関、推進団体、地元自治体等と連携した国への働きかけ
- ・オンラインイベント等への出展、全国的な推進団体等の多様な主体と連携した国民の理解増進のための普及啓発活動

#### (2) I L C プロジェクトの推進（I L C の建設候補地としての受入環境整備）

- ・I L C の建設準備段階への移行に向けて、東北 I L C 事業推進センターと連携し、建設候補地周辺の地形図の作成等、建設準備に必要な具体的な調査検討の実施
- ・「I L C による地域振興ビジョン」（令和元年 7 月策定）に基づき、県内企業の加速器関連産業への参入及び受注の促進、外国人研究者等の生活・医療・受入環境整備、グリーン I L C 推進などの取組の実施
- ・県内の高校生を対象とした未来の I L C を担う人材育成事業の実施  
（I L C 推進モデル校の取組、理科系研究コンテストの開催、先端研究施設派遣研修）

※普及啓発等に係る今年度の主な取組は別紙のとおり。

## 【別紙】

### 令和2年度の岩手県の普及啓発等に係る主な取組（令和2年12月末時点）

#### 1 講演会・セミナーの開催

##### (1) I L C講演会

I L Cへの一層の理解増進を図るため、I L C実現に向けた研究者の取組やI L C計画の推進状況に関する講演会を開催。（岩手県国際リニアコライダー推進協議会と共催）

・開催日：9月24日〔Web開催：633名〕

##### (2) I L C技術セミナー

県内企業の技術力向上や取引機会の拡大等の推進に向けてセミナーを開催。（いわて加速器関連産業研究会と共催）

・開催日：7月16日(70名)、9月23日(166名)、11月26日(111名)〔いずれもWeb開催〕

##### (3) グリーンI L Cセミナー

再生可能エネルギーの利活用、排熱回収、関連施設の木造化等により、I L Cを通じた持続可能なエコ社会を目指す「グリーンI L C」について理解を深めるため、先進的な取組等について情報交換を行うセミナーを開催。

・開催日：12月17日〔Web開催：130名〕

##### (4) 多文化共生推進講演会

I L Cの実現を見据え、外国人の居住環境の充実を図るため、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」に関する講演や、多文化共生推進とI L C準備の関係性等に関する講演会を開催。（奥州市と共催）

・開催日：11月10日〔奥州市役所江刺総合支所：59名〕

#### 2 「いわての高校生サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト for ILC」の開催

県内高校生の科学に対する興味・関心の深化を促し、I L C及びI L Cに関連する技術の研究開発を目指す人材を育成・輩出することを目的とし、科学の研究発表を行うコンテストを開催。

・開催日：11月7日〔岩手大学理工学部テクノホール〕

・参加：5校7チーム

盛岡第一高校、盛岡第三高校、水沢高校、水沢工業高校、一関第一高校(3チーム)

・結果：1位 盛岡第一高校（テーマ：I L Cのモデルを用いた波の観測とその応用）

※1位のチームは、国内の先端研究施設の視察研修を実施予定。

#### 3 I L C推進モデル校によるI L Cを担う人材の育成

I L Cに関わる幅広い分野で活躍できる人材を育成するため、I L C推進モデル校を指定し、取組を支援。

【令和2年度I L C推進モデル校（10校）】

盛岡第一高校、盛岡第三高校、盛岡工業高校、花巻農業高校、水沢高校、水沢工業高校、一関第一高校、大船渡東高校、宮古商工高校、福岡高校

#### 4 岩手I L C連携室オープンラボを活用した普及啓発

一般の見学の他、高校生や中学生が見学。

【岩手I L C連携室オープンラボ】

・初心者から関連産業の参入を目指す事業者や学生など、誰もが学習・研究できる施設として、平成30年4月に岩手県先端科学技術研究センター（盛岡市北飯岡）内に開設。

・クライオモジュール実機（6m/本）、超伝導加速空洞等を展示。